

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 19 号)

2024年 3月21日発行
 兵庫のみ研究所

海域全般に、小型珪藻のレプトシリンダラス、リゾソレニア等が確認されています。大阪湾全域で栄養塩が大きく減少しており、明石海峡部の栄養塩の値は低下しています。そのため窒素は、大阪湾の海水の影響が見られる八木鋼管と新漁場～二見漁場東部沖筋で概ね1 μg at/L台、魚住鋼管～別府漁場地先で3～5 μg at/L台、その他の海域では陸水等の影響が見られる地点を除き1 μg at/L以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均10.0℃ (平年比0.6℃、昨年比1.1℃ともに低い)。(塩分) 平均32.21psu。前回 (32.13) より0.08psu高い。
 (珪藻) 海域西部において、小型珪藻のレプトシリンダラス、リゾソレニア、キートセロス等が多く確認されており、前回 (3/13) 調査より発生量は増加していた。海域東部では、大阪湾と同様にレプトシリンダラス、スケルトネマが確認された。大型珪藻ユーカンピアは、海域西部で依然確認されており、発生量はやや増加していた。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、海域東部で0～2細胞(前回値：0細胞)、海域西部で5～40細胞(前回値：0～20細胞)であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.9	10.0	10.6	11.1
窒素	2.0	2.2	3.1	2.5
リン	0.32	0.31	0.28	0.30

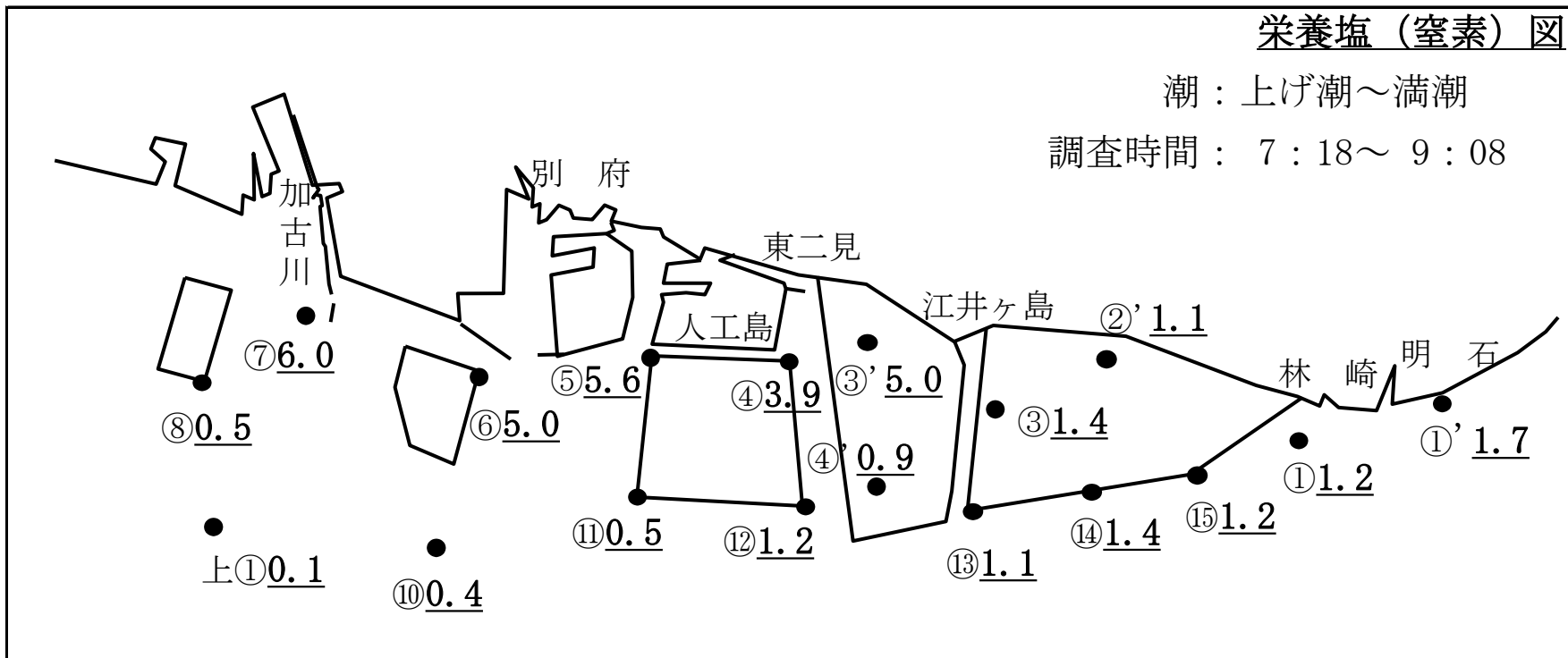
(3/13) (3/20)

2024年 3月21日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7:18～9:08



水温図

